

やまがたの環境とくらしを考える会 (巻243)

岐阜県山県市西深瀬208

Tel・FAX 0581-22-4989

なんでも相談 どの政党とも無関係の 寺町ともまさ 2008年4月5日

HP ⇒ <http://gifu.kermin.net/teramachi/>

メール ⇒ tera-t@ktroad.ne.jp

毎日、何百もアクセスがある私の日記 ブログ は「てらまち」で検索するのが一番はいいです

先日、市民の皆さんのお宅に配布された山県市の広報「やまがた」最新号の第8ページには、4月13日告示20日投票の市議選の案内や期日前投票のことなどが掲載されています。ところで、選挙での不正、例えば昨年4月の輪之内町長選挙では選挙前に5000円ずつ受け取ったことが「買収」と認定されて、有権者約50人が書類送検され、当選した候補者は逮捕、辞職でした。左下の4月1日付けの新聞記事は徳島県の例ですが、「ハムの詰め合わせ」を候補者側が配って、拒否や返却した人でない受け取ったままの約300人が書類送検されました。山県市でも、「〇〇が『箱』を持ってきたが固辞した」「地域の人をバス旅行に連れて行き、飲ませ食わせだった」・・・など伝わっています。警察はどうするのでしょうか。

夏野菜の代表格の一つはトマトだ。無農薬でトマトを作ることができれば他の野菜は簡単だが、もともと乾燥した南米高原地帯原産の作物だから、日本の高温多雨な気候は不向きで、数年たつと病気に悩む人が多い。連作障害があるので、ナス科の作物を3〜4年栽培していない場所を選ぶ。菜園でトマトが作りにくくなったら、袋培地で栽培を試みてはどうだろう。病原の土から離すために、肥料袋などに新しい土を入れ、畑の土の上に逆さにし、上部に穴を開けて苗を植える。レジ袋で試したことがある。乾燥するか



セカンドステージ

有機農業者 寺町 知正

こだわりトマトに挑戦

ら水やりもいるが、トマトの味を良くし、耐病性も増す。トマトも最近では多品種が出回っている。新たな品種を作るのも楽しい挑戦だ。ミニトマトは作りやすいが、私は好きではないので放任栽培していた。が、数年前、抜群においていいプチトマトに出会ってから、3本仕立てにしてまじめる。夏野菜はどれも基本的に接ぎ木苗をすすめている。値段が100円高くても、必ず元はとれる。たに世話をしている。ともかく、安全、安心、美味にこだわる農法はセカンドライフに向くし、実は、新しい農業の一つ

16陣営が出席

山県市議選 立候補者説明会

任期満了(四月二十日)による山県市議選の立候補者説明会が二十一日、市役所で開かれ、定数と同数の十六陣営が出席した。陣営の内訳は新人一、元職一、現職十四。今回の選挙から定数が六減され一六となる。出席した

2008.3.22 中日

毎日新聞 町民306人書類送検

2008.4.1

徳島県警が藍住町議選で受供与容疑を選を巡る選挙違反事件で、逮捕された町議から票の取りまとめの見返りにハムの詰め合わせを受け取ったとして、有権者の町民306人を公選法違反(受供与)容疑で徳島地検に書類送検した。町の有権者数は約2万6000人で、約85人に1人、約2000人に配った。約200セットは受け取りを拒否されるか受け取った後に返品されたが書類送検された306人は受け取ったままだった。今回の選挙は定数が20から16に削減され、17人が立候補。木内被告は9位の688票で3選された。県警の調べに対し「定数減で危機感があった」と供述している。【向畑泰司】

薬害エイズ被害者の川田龍平さんのことは、多くの人が知っています。私も、テレビのニュースなどで見たりし、その理不尽な経過や事情に胸が痛む思いでした。同時に、川田さんの勇気や行動力には驚いていました。数年前、テレビでなく川田龍平さんご本人と知り合うことができました。川田さんは、昨年からの党派にも属さない参議院議員として働いています。その川田龍平さんからメッセージが届きました。

川田龍平さんからのメッセージ

私が19歳で実名を公表し、薬害エイズ裁判を闘ったあのとき、「何をしたって無駄だ」とあきらめるのではなく、周りの人たちと一緒に取り組んだことで一人ひとりを動かし、その一人ひとりが行動したことが画期的な裁判の和解へとつながりました。

「一人では何もできない」のではなく、「一人から始まる」のだと思います。この間も、一人ひとりの原告に多くの人がつながって、「薬害肝炎救済法」という全面救済に向けた第一歩を実現させました。

「市民の視点ではたらく」寺町ともまささんは、口利きや利益誘導をなくし、しがらみなく、市民の意思や願いを大事にできる方です。

みなさんが自分にできることは何かを考え、行動することで社会は変わります。自分だけの幸せではなく、みんなと幸せを共有する地域をつくっていきましょう。寺町ともまささんと一緒に、未来に希望を持って子どもたちを育み、いのちや自然、誇りを伝えられる地域をつくっていきましょう。

参議院議員 川田龍平

《川田龍平（かわだりゅうへい）さんのプロフィール》（HPから転載）

1976年1月12日東京都小平市生まれ 参議院議員 元松本大学非常勤講師

薬害エイズ訴訟（東京HIV訴訟）原告 人権アクティビストの会代表 龍平学校-PEEK 主宰

主な著書に 『川田龍平 いのちを語る』『日本に生きるということ』『龍平の現在（いま）』

『薬害エイズ原告からの手紙』（共著）など。1999年5月からは『龍平通信 Raum』を刊行。

- ◎ 生後6ヶ月で血友病と診断され、治療のために投与した輸入血液製剤によりHIV感染。
- ◎ 1993年 高校3年生で「薬害エイズ事件」の国と製薬会社の責任を問う東京 HIV 訴訟の原告に加わり、95年実名を公表。
- ◎ 2007年7月 参議院議員選挙に東京選挙区から無所属で立候補し68万3629票で当選。参議院環境委員会に所属

（以下は川田龍平・国政報告2008年3月20日号から抜粋転載）

大きな一歩！ 薬害肝炎

薬害肝炎問題では、取り急ぎの緊急法が議員立法で成立しました。しかし、今後、「全員救済」のためには、なお一層の努力が必要です。先天性疾患を持った方達の被害救済をはじめ、予防接種等によるB型肝炎感染者や、輸血による感染者への補償、また肝硬変や肝ガンへと病気が進行してしまっ

治療も必要とされています。今後成立見込みの医療費助成法だけでなく、さらに医療研究促進などの施策も必要です。薬害再発防止については、当選後すぐに取り組み始めた「被験者保護のための患者の権利（仮）法案」の成立が重要です。今後も追加の支援策を求めて、粘り強い運動と世論が必要になります。一緒に頑張りましょう。

川田龍平

結婚報告

川田龍平はジャーナリストの堤未果さんと、先月結婚しました。

私事であり公表をひかえていたが、3月3日にマスコミ発表したところ、多くのメディアが取り上げてくださり、また、みなさまからもたくさんのお祝いのお言葉をいただきました。ありがとうございます！

今後ともご支援・ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ポスター代等 2004年山県市議選公営費請求額 (単位「円」)

所属のうち、「保系無」は「保守系無所属」、公明は「公明党」、共産は「共産党」、無は「純粹無所属」
 ◆は警察が書類送検した者 ●は議員を辞職した者 ■はポスター代の水増を認め市に返還した者

送検	辞職	返還	上限%	ポスター代	候補者名	所属	自動車借上料	選挙車燃料代	運転手日当	公金受領額の合計
			0.0	0	寺町 知正	無	0	0	0	0
			32.9	121,905	久保田ひとし	保系無	50,190	23,205	87,500	282,800
			40.3	149,580	河口 國昭	保系無	105,840	41,951	87,500	384,871
			42.0	155,925	影山 春男	保系無	106,575	0	0	262,500
			42.0	155,925	大西 克巳	保系無	0	29,635	87,500	273,060
			42.0	155,925	藤根 圓六	保系無	100,800	9,934	84,000	350,659
			42.0	155,925	田垣 隆司	保系無	91,000	20,932	84,000	351,857
			42.0	155,925	長屋 孝	保系無	107,100	23,673	87,500	374,198
			43.0	159,300	石神 真	保系無	107,100	33,055	87,500	386,955
			44.0	163,080	横山 哲夫	保系無	107,100	12,004	87,500	369,684
			44.0	163,080	藤垣 邦成	保系無	105,000	18,598	84,000	370,678
			44.0	163,012	村瀬 伊織	保系無	107,100	13,213	87,500	370,825
			44.0	163,080	後藤利てる	保系無	107,100	15,845	87,500	373,525
			49.9	184,950	小森 英明	保系無	52,500	13,161	84,000	334,611
◆	●	■	53.5	198,450	武藤 孝成	保系無	106,575	17,487	87,500	410,012
			60.4	223,965	谷村 松男	保系無	107,100	9,960	87,500	428,525
			61.7	228,900	中田 静枝	共産	107,100	9,222	87,500	432,722
◆	●	■	80.3	297,675	村橋 安治	保系無	106,575	0	84,000	488,250
			95.0	352,215	尾関 りつ子	公明	107,100	11,130	0	470,445
◆	●	■	99.4	368,550	渡辺 政勝	保系無	105,000	0	84,000	557,550
◆		■	99.4	368,550	宮田 軍作	保系無	106,575	23,762	87,500	586,387
◆		■	99.4	368,550	横山 善道	保系無	107,016	23,326	87,500	586,392
◆	●	■	99.7	369,900	吉田 茂広	保系無	107,100	16,460	87,500	580,960
◆	●	■	99.7	369,900	村瀬 隆彦	保系無	103,670	32,026	87,500	593,096

2008年1月14日 読売新聞

公明・太田代表が過大請求

05年衆院選選挙カーの燃料代 全額返還

2005年の衆院選で、公明党の太田昭宏代表(東京12区)が、公費で賄われる選挙カーの燃料代を過大請求していたとして、東京都選挙管理委員会に全額を返還していたことが13日、わかった。

公費支給の対象となる燃料代は、候補者一人につき選挙カー1台分で、衆院選の場合は日額7350円が上限。05年の衆院選では、選挙運動期間(8月30日～9月10日)の12日間の燃料代として、最大8万8200円が選挙カーから支給される。太田代表は選挙運動期間中の燃料代として、都選管から上限の8万8200円を受け取っていた。

太田代表の当時の選対幹部によると、昨秋に東京都墨田区議選などで過大請求が相次いで発覚したところ、伴走車の燃料代も合わせて請求していたことがわかり、昨年11月に全額を返還したという。

2007年5月4日 朝日新聞

無党派の新議員

本番へ、心得学ぶ

岐阜、県外からも参加

当選はゴールではなくスタート。今回の統一地方選で初当選した無党派の新人議員らを対象にした初議会への心得講座が3日、岐阜市金町5丁目の市文化センターで開かれた。

前半は、みどりさんと、夫で山県市議の寺町知正さんが「会派に属さずにする議員活動」などについて解説。後半は、模擬議会の形式で、新人議員から「フーネクタイはなぜいけないのか」「一般質問を一回一答にした」といった質問を受け、想定される反論を考へ、どう議論を持っていけばいいのか、議会の慣例にどう立ち向かうかなどについて話し合った。

愛知県武豊町議の小寺岸子さんは2期目。「自分で四苦八苦していたことを教えてくれて、ありがたい」と話した。

議員名	発言数	在職
寺町 知正	264	48
中田 静枝	116	48
藤根 圓六	18	48
久保田 均	18	48
村橋 安治	12	43
村瀬 隆彦	9	43
横山 哲夫	9	48
後藤利てる	9	48
渡辺 政勝	8	40
谷村 松男	7	48
小森 英明	6	48
横山 善道	5	35
尾関りつ子	5	48
杉山 正樹	3	12
宮田 軍作	3	48
影山 春男	3	48
藤垣 邦成	2	35
石神 真	0	12
吉田 茂広	0	40
武藤 孝成	0	43
河口 國昭	0	48
大西 克巳	0	48
田垣 隆司	0	48
村瀬 伊織	0	48
合計	497	月

議場での質疑・発言の議員ランキング

発言し議論してこそ 議員じゃないの！

2004年6月から2008年3月までの山県市議会定例会における議案質疑の発言回数を集計表。(単なる要望等はカウントせず) 4年間16回の本会議での回数の合計(在職月数に注意)。

山県市議会は、定例会の中間の本会議で、各議案について一問一答方式で、1件につき3回まで質問ができる。

事前に内容を通告する一般質問と違い、筋書きなしのまま本会議場での「ぶっつけ本番」の議論は準備も必要だが、一番おもしろい。

【山県市の議員に毎月支給される報酬の額】 議長37.8万円
副議長34万円 委員長32.5万円 一般議員32万円

【ボーナス加算制度廃止後も支給されるボーナスの1年間の合計額】
議長 37,8万円×(445/100ヶ月)=168万2100円/1年間
一般議員 32万円×(445/100ヶ月)=142万4000円/1年間

※ 最近お届けした「倫理チェック」のパンフの議員の発言記録の表中の「在職月数」につき、左表の通り横山哲夫議員「48」藤垣議員「35」ですので訂正いたします。よろしくお願ひします。

無党派・市民派議員の勉強会 やってます

議場で発言するためにはしっかりと勉強が必要です。私は、どこの党派にも属しませんが、各地の「無党派・市民派」の議員の皆さんと勉強会を続けています。おかげでいろんな勉強ができます。

2007年5月4日 毎日新聞

当選後が本番です！ 卓

市民派12議員が勉強会 岐

特定の政党や組織に属さない形での政治参加をすすめる「無党派・市民派ネットワーク」(事務局・寺町みどり旧高富町議)は3日、統一地方選で当選した無党派・市民派議員を対象に「市民派議員大集合——当選してからが本番です」と題した勉強会を岐阜市文化センターで開いた。県内外から集まった新人議員を含む12人は4時間にわたって熱い議論を交わし、議会のしくみや市民派議員の役割を学んだ。

参加したのは東海3県と長野、福井、京都の無所属議員。寺町さんと夫で山県市議の寺町和正さんが講師となって、議会のしくみや議論の方法を説明した。その後、参加者らで模擬議会や「市民派議員として働くには」をテーマにディスカッションを行った。発言内容がテーマからそれると、寺町さんたちからすぐさま注意が飛び、1人1分と決められた発言時間を過ぎるとタイマーが鳴る徹底ぶりに、激しい選挙戦を勝ち抜いた議員らにも緊張が走る。

勉強会終了後、みどりさんは「議会は言葉、そして言葉は力です。言葉を使うノウハウやスキルを身につけてほしい」と激励した。福井県敦賀市議選で新人ながらトップ当選した前川和治氏(29)は「教習以外の話や考え方を聞けて勉強になった。自信が少しついた」。

長野県下諏訪町議2期目の青木利子氏も「議会に何年もうると議会に汚染されてしまうが、改めて新鮮な気持ちに戻れました」と充実したようだった。

【中村かさね】

参加したのは東海3県と長野、福井、京都の無所属議員。寺町さんと夫で山県市議の寺町和正さんが講師となって、議会のしくみや議論の方法を説明した。その後、参加者らで模擬議会や「市民派議員として働くには」をテーマにディスカッションを行った。発言内容がテーマからそれると、寺町さんたちからすぐさま注意が飛び、1人1分と決められた発言時間を過ぎるとタイマーが鳴る徹底ぶりに、激しい選挙戦を勝ち抜いた議員らにも緊張が走る。

勉強会終了後、みどりさんは「議会は言葉、そして言葉は力です。言葉を使うノウハウやスキルを身につけてほしい」と激励した。福井県敦賀市議選で新人ながらトップ当選した前川和治氏(29)は「教習以外の話や考え方を聞けて勉強になった。自信が少しついた」。

長野県下諏訪町議2期目の青木利子氏も「議会に何年もうると議会に汚染されてしまうが、改めて新鮮な気持ちに戻れました」と充実したようだった。

【中村かさね】